



International Institute of Multi-Cultural Studies

特定非営利活動法人

# 国際比較文化研究所

■ Newsletter ■

Vol. 23. No.1. 2022年6月

## 鷺の宮卓話

### 多文化交流の原点

太田敬雄

ここしばらくは、IIMSの多文化交流プログラムはオンラインに限定されてきた。オンラインでの実施によって新しい発見も有り、発展もあった。しかし、そろそろ本来の対面で寝食を共にする交流を再開させたいと願っている。

学生に企画・運営を任せているプログラムなので、2年も経過すると新しいスタッフの中にはもう対面のプログラムの経験者が居ないことになる。その意味では対面プログラムの再開ではなく、新たに始めるようなものだ。その認識でIIMSの多文化交流プログラムの原点となった一人の人物との出会いを記しておきたい。

その人物、Dr. John A. Eisterhold Jr.は2000年に亡くなっているのですが、その後IIMSで発足させた多文化交流を知る事も無かった。しかし、彼との出会いと20年に及ぶ密な親交が無ければ多文化交流プログラムが離陸したかどうかは大いに疑問である。

私が弘前大学に赴任した1975年、アイスタホルド氏はテネシー大学マーティン校(UTM)と弘前大学の提携のために弘前を訪れていた。私は彼の歓迎プログラムで知り合い、ほぼ同年だった私たちは急速に親しくなっていた。

ある時、アイスタホルド先生から、アメリカの教育関係のNPOが、UTMで実施する大学生のための留学プログラムに引率として参加しないかとの打診があった。1980年春に私は14名の参加者を引率してUTMで3週間過ごした。

その後のニューヨーク旅行を含めて4週間を参加者と共に過ごした。このSpring Studyプログラムが後の多文化交流の原点となったのだ。

80年代なかば、私は群馬に新設された新島学園女子短期大学に移ったが、第1期生から毎年「アメリカ短期留学」をUTMのアイスタホルド氏と共に立ち上げた。最初は20名弱の参加者でスタートしたが、その後、多い時には80名を超える学生が参加するプログラムに成長していった。

10年以上続いた短期留学の実施経験が無ければ、IIMSの海外での多文化交流プログラムを企画・実施する事は難しかったらと思う。

さらに、ネイティブの先生をアイスタホルド氏に推薦してもらい、彼本人も1年間UTMを休んで新島に来てくれたことも貴重な思い出となっている。

2000年に短大を辞し、私は国際比較文化研究所を立ち上げた。その年、私はアイスタホルド氏の招きにより彼がUTMで立ち上げた高校生のためのTennessee Governor's Schoolの講師の一人として7月にUTMに行った。私の講義も終わった翌日、7月8日は体育館の脇で昼食。続いて生徒対先生のソフトボールの親善試合。彼はピッチャー。目の前に転がったボールを拾いに行った彼はそこで倒れて帰らぬ人となった。享年59歳。

知らせを聞いて駆け付けた奥様、Yayoiさんは1980年のSpring Studyに日本から参加した学生の一人。彼女のサポートをしながら、また葬儀で弔辞を述べながら、「アイスタホルド氏はこの為に私を呼び寄せたのだろう」という気がしていた。

Spring Studyから42年、対面で立ち上げる多文化交流をアイスタホルド氏に捧げるに足るものとなることを期待している。

皆さんこんにちは、理事長の太田琢雄です。当研究所創設者である太田敬雄を父に持ち、いまでは三女の父親です。

「みんなちがってみんないい」は父が大好きな金子みすゞの詩の1行で、気づけばそれはいつしか私自身の世界観でもありました。価値観を押し付けられたことは一度もありませんが、育った環境というのは不思議なものです。設立して早13年 Manapal&IIMS の先生たちもこの信念のもと、子どもたちの成長支援に奮闘してくれています。

世の中の変容に戸惑うことも多いです。ドラえもんはいないけど AI に頼る時代がやってきて、どこでもドアはないけど、ボタンひとつで世界中と繋がれるようになりました。パンデミックで様々な常識が覆され、悲しい争いも起き、世界はおそらく過去に無いスピードで変化しています。けれどこんな時だからこそ忘れてはいけないこともあると思うのです。「大切なものは目に見えない。心で見なくちゃ。」

自分の中にあるこの確信も、気づけば母の愛する絵本の一節でした。星の王子様の初版は第二次世界大戦中、著者の友人である平和主義のユダヤ人に捧げる物語であると献辞で記されています。過去から今そして未来へ、本当に大切なものはずっと変わらないのかもしれませんが。

今号の鷺宮卓話を拝読しました。偉大なるアイスタホルド先生と太田敬雄青年の「国境を越えた友情」と「世界平和への祈り」が、国際比較文化研究所の活動の原点とのこと。私たちは先人たちが蒔いた希望の種、精一杯芽吹いて、未来へ繋がねば。

特定非営利活動法人国際比較文化研究所理事長／MANAPAL&IIMS 代表

太田琢雄 OTA, TAKUO 1976年8月22日／46歳／O型



- <経歴> ・青森県弘前市生まれ（1976） ・群馬県安中市に転居（1982）  
 ・安中市立東横野小学校卒（1989） ・私立新島学園中学校・高等学校卒（1995）  
 ・米国 Conordia University, Irvine 卒（人類学・心理学専攻／2001）  
 ・学校法人有坂中央学園中央高等専門学院（英語科責任者・学年主任・広報リーダー／2002～2009）  
 ・国際比較文化研究所副所長就任（2009）理事長就任（2019）  
 ・多目的教育施設まなばる（現 MANAPAL&IIMS）開設（2009） ・安中ハロウィン大作戦！スタート（2010）  
 ・the 安中会スタート（2013） ・群馬 NPO 協議会会長就任（2016～）  
 ・安中市ひきこもり支援関係者連絡会委員（2017～） ・群馬県総合表彰受彰/令和3年度生活功労の部（2021）

## 総会報告

### 貸借対照表

2022年3月31日 現在

(単位：円)

2022年5月28日14時～15時、昨年に続きオンラインで総会を開催しました。2021年度事業報告、2021年度会計報告、監査報告。

2022年度事業計画、2022年度予算の他、役員人事と定款改定を検討・承認されました。

決算については、定めに従い承認された貸借対照表を右に掲載しておきます。

人事については、長年理事として、IIMSの活動を支えて下さいました伊藤成氏、野口紀子氏が辞任され、今後は顧問としてご指導いただく事になりました。

### <新役員>

会長：太田敬雄 理事長：太田琢雄、  
 副理事長：狩野真由美、理事：荒井美幸、  
 岩丸愛、金井美由紀、岸綾夏、関千景、關橋賢、  
 西佳名子。

監事：幸田一彦、福田則行。

顧問：伊藤成、野口紀子。

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	14,604,329	
流動資産合計		14,604,329
2. 固定資産		
(1)有形固定資産		
【事】備品購入費	1,610,136	
車両運搬具	1,548,266	
減価償却累計額	-1,816,621	
什器備品	25,278	
有形固定資産計		1,367,059
(3)投資その他の資産		
敷金	85,000	
投資その他の資産計		85,000
固定資産合計		1,452,059
資産合計		16,056,388
II 負債の部		
1. 流動負債		
短期借入金	150,000	
未払消費税等	655,800	
預り金	325,068	
所得税預り金	398,359	
流動負債合計		1,529,227
2. 固定負債		
長期借入金	16,035,390	
退職給付引当金	765,000	
固定負債合計		16,800,390
負債合計		18,329,617
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		984,011
当期正味財産増減額		-3,257,240
正味財産合計		-2,273,229
負債及び正味財産合計		16,056,388

## 多文化交流

卓話にも書きました「多文化交流」、現在学生の企画・運営による二つのプログラムの準備が進められています。

一つは【第5回 多文化交流オンライン ～2022年8月開催～】で、8月27日（土）の午後3時からZoomでの開催になります。三カ国の学生たちが立ち上げているプログラムで中曽根莉子（群馬県立女子大）、レヴィト・カリファ・ムハンド（インドネシアのブラウイジャヤ大）、キム・ヒョング（韓国の釜山外国語大）が共同代表でスタッフの学生たちと共に頑張ってくれています。準備も全てオンラインでZoomをフル活用して企画、それだけでも立派な多文化交流です。

もう一つは【多文化交流 in ぐんま 2022】で、こちらはコロナの状況を見ながら必要に応じて柔軟に対応することが求められます。現時点での計画では、安中市の学習の森で9月23日（金）～25日（日）の予定で、二人の代表、唐沢美里、須川奏（共に群馬県立女子大）と共にスタッフの学生たちが、こちらは出来る限り対面でプログラム作りに励んでいます。スタッフは一人も以前に開催してきた多文化交流を体験していませんから、対面のプログラムは「復活」と言うよりは、「新たに始める」感じになると思います。どんな形になるのか楽しみです！コロナ以前に対面の多文化交流を経験してきた先輩たちには温かく若いスタッフの挑戦を見守り、支えて頂ければ嬉しいです。

今後、海外での多文化交流や親子多文化交流、海外からのグループを受け入れての交流など、徐々に復活させていきたいものです。さらに、これまでは「日本語による交流」をIIMSの多文化交流の特徴としてきましたが、これからは他の可能性も模索してみたいと思います。

## オムニバス講座

ニューズレターの3月号でご紹介しましたように、2022年度前期のオムニバス講座は次の方々を講師にお迎えして充実した学びと、温かい交流の時を持ちました。講師は：釜山外国語大学の日本語の先生 三國喜保子さん、NPO かんますべ～代表 大和隆生さん、児童英語教育者 mpi 松香 フォニックス名誉会長 松香洋子さん、特別支援学校美術教師 蒔苗正樹さん、EQ 絵本講師 澤田恭子さん。それぞれの講師に「私の住む世界」を語っていただき、参加者の皆さんには「感じてみる、考えてみる」そこから自分の「世界を少し広げてみる」ことを目指しました。

「講座」と銘打ってはいますが、「講演を拝聴する」のではなく「講師のお話をもとに、講師も参加者も大いに語り合い、交流の輪を広げていく」ことをめざした「オムニバス講座」。そこから幾つもの新しいつながりが出来てきているのが何よりも嬉しいです。

今回初めて参加者に限定してYouTubeでの配信を試みました。当日急に参加できなくなった方や、再度見たい方々に重宝されました。今後は公開出来ないものか検討していきたいと思っています。ご意見等お寄せください。

## メールアドレス変更

前号でもお知らせしましたが、IIMSのアドレスを取得しました。新アドレスは [iims.since2000@gmail.com](mailto:iims.since2000@gmail.com) です。これまでの [totatakao.iims@gmail.com](mailto:totatakao.iims@gmail.com) は所長、太田敬雄の個人のアドレスとなります。これまで同様にご利用いただきますよう宜しくお願いします。

## ニューズレターのお届け方法について:

現在、ニューズレターは紙媒体でお送りしている方と、メールでお送りしている方が有ります。お届け方法の変更希望がございましたら [iims.since2000@gmail.com](mailto:iims.since2000@gmail.com) にご連絡ください。

## 「違いを認め合い、受け入れ合う中で友となる」

友達の輪が目指す平和な地球社会創りが増々求められる時代となっています。使命感を持って、これからも「多文化交流活動」「オムニバス講座」など力強く押し進めて参ります。お支え下さい！

### 会費及びご寄付のお振込みについて

#### 【クレジットカードによる手続き】

下記 QR コード、もしくは IIMS のホームページからアクセスして頂き手続き・ご登録ください。



研究所 (IIMS) のホームページ  
<http://www8.wind.ne.jp/mthc>

#### 【振込用紙による手続き】

ニューズレターを郵送させていただき皆様には、振込用紙を同封させていただきます。これは請求書ではなく、一律に皆様にお送りしているもので、すでに会費をお振込み下さった方にもお送りしています。郵便振替口座ご利用の方はご活用ください。

入会ご希望の方：「入会希望」と一言添えて年度会費お振込み下さい。

**3 月から 6 月 23 日までの入会者**：正会員：根岸大輔、太田玲子 賛助会員：吉野愛子、相川洋美、澁谷和代、川口美里、田中志乃、神戸るみ

学生会員 2022 年度：保科若奏、Ismail Mahfud Hidayat、ゴ・ソクジュン、大木日菜子、Woo Yunje、鵜飼ナイル、逸見優奈、松島あみ、須田零香、伊藤愛、飯田愛麗、平賀心桜、高間咲輝、桑原りえ、水谷美空、山口萌々子（これまで学生会員の入会は紹介しておりませんでした。現在、今年度入会者を含めて 41 名の学生会員がいます。）

### 会費・寄付振込状況：2022.3.11.～6.22. (カード：3.1.～5.31.)

**正会員会費**：狩野真由美、幸田一彦、関千景、高尾善樹、菅ヶ谷純弘、菅ヶ谷由美子、伊藤成、福崎結子、西佳名子、根岸大輔、岩丸愛、福田則行、野口紀子、太田玲子、

**賛助会費**：原啓太（3月号に掲載漏れ。申し訳ありませんでした）、山縣英明、松香光夫、新井瑞穂、齋藤正典、吉野愛子、清水久美、村井田和夫、小川美幸、永田強一、板垣剛、内田穂積、大谷雄一、熊倉浩靖、森泉孝行、木暮道子、相川洋美、千木良和子、小林慎樹、小原智、大澤直子、増山律子、井上萌、梶原悦子、杉浦翔太、片岡謙、中島愛、小坂景子、高山佳葉、Candy、藤本恵大、横井宏行、ファン翠、澁谷和代、川口美里、堀越美津子、正田智美、山崎恵美子、田中志乃、神戸るみ、坂本隆幸、關橋理紗、斉木雄作、齋藤正幸、齋藤野乃、小島明子、岩本謙・松江、  
**一般寄付**：山縣英明、齋藤正典、狩野真由美、遠藤稔、幸田一彦、内田穂積、大谷雄一、関千景、菅ヶ谷純弘、菅ヶ谷由美子、木暮道子、伊藤成、小倉寿、山村由美、堀越美津子、正田智美、栗野好英、田中志乃、岩本謙・松江、

**まなばる寄付**：板垣剛、田中志乃、 **多文化交流寄付**：田中志乃、

**毎月寄付**：樋本達之、福崎結子、田村珠里、根岸大輔、Rosdiana Febriyanti、藤本恵大、内野春香、片岡謙、ファン翠、 **IIMS 看板寄贈**：伊藤成、

編集後記：◎年 4 回発送で落ち着いたニューズレター、6月号の発送が7月になってしまいそうです。理事長から外れ、会計も「多文化交流」も職員の松原君にほぼ託して、時間はたっぷり有るのに！歳です。

◎「留学」は若者のものとは限らず、定年後の人、夫妻での留学、働きながらの留学など、色々な可能性を留学中の方から聞きました。IIMS でもそのような留学の可能性をお伝えしていきたいです。(敬)

**発行**：特定非営利活動法人国際比較文化研究所  
**事務所**：379-0124 群馬県安中市鷲宮 3413-3  
**電話**：027-382-5998 FAX:027-382-6393  
**研究所**：<http://www8.wind.ne.jp/mthc>  
**メールアドレス**：iims.since2000@gmail.com  
**まなばる**：<https://www.manapal.jp>  
**メールアドレス**：mail@manapal.jp  
**郵便振替口座**：加入者名 国際比較文化研究所  
口座番号 00510-1-61974